

## 第 2 期実証実験の効果検証について

令和 7 年 12 月 2 日

広島県健康福祉局健康危機管理課

# 1. 第2期実証実験効果検証の実施背景



- 第2期実証実験（R7.10～R10.9予定）については、内閣府の「新しい地方経済・生活環境創生交付金 デジタル実装型TYPES（以下「本交付金」という。）」を活用し、国（厚生労働省・消防庁）とも連携して事業を実施
- 本交付金の要件に基づき構築する「救急医療情報連携プラットフォーム（以下「プラットフォーム」という。）」及び比較対象として民間救急システム（TXP Medical株式会社が提供するNSER mobile）の検証データの報告が必要

- 第1期実証実験（R5.10～R7.9）では、搬送後の時間短縮や業務効率化といった一定の効果は確認できたが、受入交渉時間・現場滞在時間に変化はなく、第2期実証実験では、運用フローの再整理等と併せて、効果検証の深堀が必要
- システムから抽出した搬送データとDPCデータを紐づけし、搬送後のアウトカムへの効果を検証するなど、幅広く有効性の検証が必要

①

## 救急医療情報連携プラットフォーム データ解析

目的	全国展開に向けた検討に必要となるプラットフォームの検証データを国に提供するため
解析期間	令和7年10月～令和8年3月 令和8年度以降4半期毎
対象データ	プラットフォーム利用におけるデータ 消防OAシステムデータ
主な担当者	広島県、TXP Medical株式会社
主なKPI	プラットフォームを利用して調整した救急搬送の割合 など

②

## NSER mobile データ解析

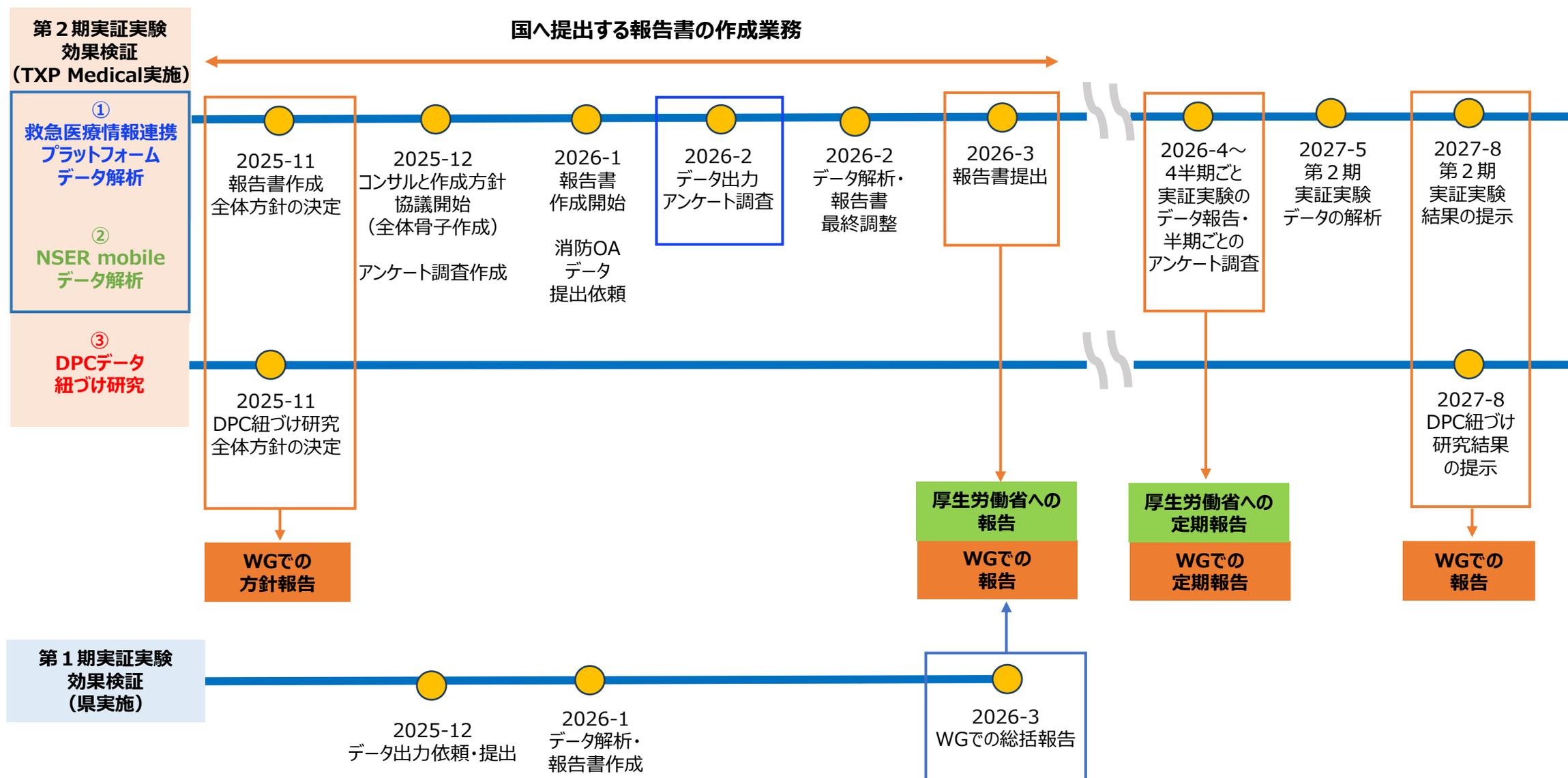
目的	実証実験におけるNSER mobileの有効性解析のため
解析期間	令和7年10月～令和8年3月 令和8年度以降4半期毎
対象データ	NSER mobile利用におけるデータ 消防OAシステムデータ
主な担当者	広島県、TXP Medical株式会社
主なKPI	NSER mobileによる搬送時間短縮効果 など

③

## DPCデータ紐づけ研究

目的	実証実験におけるNSER mobileの搬送後アウトカムへの効果検証のため
解析期間	令和9年3月頃までのデータ
対象データ	NSER mobile利用におけるデータ 消防OAシステムデータ
主な担当者	広島大学、広島県、 TXP Medical株式会社
主なKPI	NSER mobileによる自宅退院率など

## 2. 第2期実証実験効果検証の実施スケジュール



### 3. 第2期実証実験のKPI（国交付金の事業要件に基づくKPI）

対象	項目	No.	詳細項目（定義）※1	単位/基本目標値	算出方法	該当検証※2	データソース
参加救急隊	救急搬送に係る効率化	①	搬送調整に要した時間 （「医療機関決定時刻」－「問合せ開始時刻」）	分	医療機関決定時刻、問合せ開始時刻から搬送人員毎の該当時間を算出 月次の平均値もしくは中央値を算出	① ②	消防OA PF・NM
		②	医療機関での引継ぎに要した時間 （「引揚時刻」－「医療機関収容時刻」）	分	引揚時刻、医療機関収容時刻から該当時間を搬送人員毎に算出 月次の平均値もしくは中央値を算出	① ②	消防OA
		③	搬送後の搬送報告業務時間 （搬送人員毎の消防OAの入力業務時間等）	分	アンケート調査にて選択肢式で算出 （30分未満、30～1時間、…、〇以上）	① ②	アンケート
		④	搬送傷病者のアウトカムなど	－	－	③	消防OA PF・NM
	システム活用度	⑤	システムを利用して調整した救急搬送の割合 ※3 （“救急隊によるシステム入力ありハ参加医療機関搬送あり”となる搬送人員の割合）	80%以上	システム入力ありハ参加医療機関搬送あり搬送人員数/システム利用救急隊の全搬送人員数 月次で算出	① ②	消防OA PF・NM
		⑥	応需状況の入力率 ※4 （受入可否の入力率（全受入交渉において受入可否が入力された割合））	%	受入可否入力件数/全受入交渉件数 月次で算出	① ②	PF・NM
		⑦	搬送確認書への医師記載項目のデジタル化率 （傷病者申し送り票の医師記載項目（初診時傷病名、傷病程度、医師署名）のデジタル化率）	%	初診時傷病名（タップして記入）、傷病程度（ボタン選択）、医師署名（タップして記入）のいずれもデジタル化、100%となる。	① ②	PF・NM
		⑧	システム利用のためのトレーニングに要した時間 （基本的な操作（入力、閲覧など）が一通りできるようになった時間 （マニュアル、動画視聴の時間を含む））	分	アンケート調査にて選択肢式で算出 （5分未満、5～10分、…、1時間以上）	① ②	アンケート
	満足度	⑨	本システムを利用した搬送調整の満足度 （システム利用に関わる救急隊員を対象とする）	%	アンケート調査にて選択肢式（5件法）で算出 （とても満足している、満足している、どちらともいえない、やや不安である、とても不安である）	① ②	アンケート

※1 No.①、②、⑤、⑥、⑦については、システム（全体）、プラットフォーム（PF）・NSER mobile（NM）利用救急隊のそれぞれで検証する。

※2 ①救急医療情報連携プラットフォームデータ解析 ②NSER mobileデータ解析

※3 No.⑤について、救急隊視点のシステム利用＝救急隊によるシステム入力ありかつ参加医療機関搬送ありと定義し、システムのログからデータ収集する。

※4 ⑥について、現在のシステムにて救急隊による応需状況の入力に近いのは、“受入可否”の入力のみであるため、これに代替する。

## 4. 第2期実証実験のKPI（国交付金の事業要件に基づくKPI）

対象	項目	No.	詳細項目（定義）※1	単位/基本目標値	算出方法	該当検証※2	データソース
参加医療機関	システム活用度	⑩	傷病者受入に対するシステム利用率 ※5 （参加医療機関にて、受入交渉時に搬送人員情報にアクセスした割合）	80%以上	参加医療機関にて搬送人員情報にアクセスされた受入交渉回数/参加医療機関への全受入交渉回数 月次で算出	① ②	消防OA PF・NM
		⑪	二次元コードによるインターネット非接続PC端末への転記機能利用満足度 （転記機能利用医療機関職員を対象とする）	%	アンケート調査にて選択肢式（5件法）で算出 （とても満足している、満足している、どちらともいえない、やや不安である、とても不安である）	① ②	PF・NM
		⑫	受入可否の入力率 ※6 （全受入交渉において受入可否が“医療機関に”入力された割合）	%	参加医療機関における受入可否の入力件数/システムに登録されたシステム参加医療機関への受入交渉件数 月次で算出	① ②	消防OA PF・NM
		⑬	システム利用のためのトレーニングに要した時間 （基本的な操作（入力、閲覧など）が一通りできるようになった時間 （マニュアル、動画視聴の時間を含む））	分	アンケート調査にて選択肢式で算出 （5分未満、5～10分、…、1時間以上）	① ②	アンケート
		⑭	初診時傷病名、初診時程度の入力率 ※7 （医療機関側の端末には、令和7年度時点では入力機能の実装なしであるため、測定不可）	%	—	① ②	
	満足度	⑮	本システムを利用した搬送調整の満足度 （システム利用に関わる参加医療機関職員を対象とする）	%	アンケート調査にて選択肢式（5件法）で算出 （とても満足している、満足している、どちらともいえない、やや不安である、とても不安である）	① ②	アンケート

※1 No.⑩、⑫、⑭については、システム（全体）、プラットフォーム（PF）・NSER mobile（NM）利用救急隊のそれぞれで検証する。

※2 ①救急医療情報連携プラットフォームデータ解析 ②NSER mobileデータ解析

※5 No.⑩について、医療機関における傷病者受入に対するシステム利用を受入交渉時の傷病者情報アクセスと定義し、PFのログからデータ収集する。

※6 No.⑫について、No.⑥と同様の内容となる。現在のシステムにて医療機関の“受入可否の入力”には任意となっているため、医療機関入力率は低くなると予想される。

※7 広島県メディカルコントロール協議会等にて検討を継続している機能となる。

## 5. 第2期実証実験のKPI（国交付金の事業要件に基づくKPI）

対象	項目	No.	詳細項目（定義）※1	単位/基本目標値	算出方法	該当検証※2	データソース
参加救急隊	救急搬送に係る効率化	⑯	現場滞在時間 （「現場出発時刻」-「現場到着時刻」）	分	現場出発時刻、現場到着時刻から搬送人員毎の該当時間を算出 月次の平均値もしくは中央値を算出	① ②	消防OA PF・NM
		⑰	ドクターヘリ搬送における現場滞在時間 ※8 （「現場出発時刻」-「現場到着時刻」）	分	ドクターヘリ搬送における現場出発時刻、現場到着時刻から搬送人員毎の 該当時間を算出 月次の平均値もしくは中央値を算出	① ②	消防OA PF・NM
		⑱	受入交渉回数 （搬送人員毎における受入交渉回数）	回	搬送人員毎の受入交渉回数 月次の平均値もしくは中央値を算出	① ②	消防OA PF・NM
		⑲	搬送時間 （「現場出発時刻」-「現場到着時刻」）	分	覚知時刻、病院到着時刻から搬送人員毎の該当時間を算出 月次の平均値もしくは中央値を算出	① ②	消防OA PF・NM
		⑳	搬送人員数	人	搬送人員数 月次で算出 年代別、性別、事案別、傷病程度別、搬送困難事例数の層別検証も行う	① ②	消防OA PF・NM
参加医療機関	救急搬送に係る効率化	㉑	医療機関収容から初期治療開始までの時間短縮 （病院到着から初期治療開始までの治療開始時間）	分	アンケート調査にて選択肢式で算出 （1分未満、1～2分、・・・、5分以上）	① ②	アンケート

※1 No.⑯、⑱、⑲、⑳、㉑については、システム（全体）、プラットフォーム（PF）・NSER mobile（NM）利用救急隊のそれぞれで検証する。

※2 ①救急医療情報連携プラットフォームデータ解析 ②NSER mobileデータ解析

※8 ドクターヘリにおける現場滞在時間の定義としては、現状としては発生場所における現場救急隊の現場滞在時間としている。

ドクターヘリのランディングポイントにおける現場滞在時間（「現場離陸時刻」-「現場着陸時刻」）の検証についても、ドクヘリドクターと協議して検討する。